

指定管理者が行う公の施設の管理状況全期間評価

施設所管部名:

政策部

1 指定管理者の概要等

施設の名称及び所在	三重県立熊野古道センター (尾鷲市大字向井字村嶋12番4)
指定管理者の名称等	特定非営利活動法人熊野古道自然・歴史・文化ネットワーク 理事長 花尻 薫 (尾鷲市野地町12番27号)
指定の期間	平成18年11月1日～平成22年3月31日
指定管理者が行う管理業務の内容	(1)熊野古道の歴史、自然および文化に関する資料の収集、保管および展示に関する業務 (2)熊野古道およびその周辺地域に関する情報の収集および提供に関する業務 (3)交流会、体験学習会など人および情報の交流の促進をはかる業務 (4)センターの施設の利用の許可等に関する業務 (5)センターの利用料金の収受等に関する業務 (6)センターの施設および設備の維持管理および修繕に関する業務

2 管理業務の実施状況

	指定管理者の自己評価	県の評価	全期間におけるコメント
H18	B		新規施設として開館した当初は、施設内の案内および電話や来館者の様々な問い合わせ等への対応に課題があったものの、熊野古道に関する情報発信機能を果たすため、情報収集や職員研修等の努力を続けた結果、指定期間中一貫してアンケートによる来館者の満足度が上がり続けた。また、東紀州地域の自然・歴史・文化などの資源を有効に活用した様々な企画展や体験学習、交流イベント等の事業を人的ネットワークを活用しながら実施しており、引き続き事業内容の充実や、施設案内など来館者へのサービス向上を期待する。
H19	A	-	
H20	B		
H21	B		

3 施設の利用状況

	指定管理者の自己評価	県の評価	全期間におけるコメント
H18	A	-	熊野古道とその周辺地域に関する様々な講座や講演会、体験学習を企画・開催し、多くの参加者を得て施設の有効利用をはかってきたことは大いに評価できる。しかし、施設稼働率は目標値を上回っているものの、平成19年度から横ばい状況にあり、体験学習室、和室、会議室など貸館施設の利用拡大に向け、PR等の取組を期待する。
H19	A	-	
H20	B		
H21	B		

4 管理業務に関する経費の収支状況(全期間)

(単位:円)

収入の部		支出の部	
指定管理料	189,164,720	事業費	51,020,538
利用料金収入	1,204,750	管理費	146,134,465
その他の収入	9,643,129	その他の支出	0
合計 (a)	200,012,599	合計 (b)	197,155,003
収支差額 (a)-(b)	2,857,596		

参考

利用料金減免額	3,800
---------	-------

5 成果目標及びその実績

	指定管理者の自己評価	県の評価	全期間における成果目標及びその実績					
			成果目標項目	目標値	H18実績値	H19実績値	H20実績値	H21実績値
H18	A		1 施設稼働率(%) ()…会議室、和室および体験学習室の内部的使用、映像ホールの使用を除いた実績値	45	79.6 (69.8)	63.3 (47.6)	62.0 (48.5)	63.9 (45.0)
			2 来館者の満足度(%)	80.0	85.3	90.7	94.5	96.6
H19	A		3 事業参加者数(人)	(H18) 1,300 (H19) 8,550 (H20) 8,780 (H21) 11,050	16,732	81,943	65,395	81,018
			(1)企画展示参加者数(人)	(H18) 1,000 (H19) 5,000 (H20) 5,000 (H21) 6,000	15,822	77,512	54,131	64,915
H20	A		(2)その他事業参加者数(人)	(H18) 300 (H19) 3,550 (H20) 3,780 (H21) -	910	4,431	11,264	-
			(3)体験学習参加者数(人)	(H18) - (H19) - (H20) - (H21) 1,800	-	-	-	1,946
H21	B		(4)講座・講演会参加者数(人)	(H18) - (H19) - (H20) - (H21) 740	-	-	-	270
			(5)交流イベント参加者数(人)	(H18) - (H19) - (H20) - (H21) 2,510	-	-	-	13,887
			4 体験学習等開催事業数(回)	(H18) 8 (H19) 50 (H20) 58 (H21) 114	27	137	164	163
			(1)企画展示(回)	(H18) - (H19) - (H20) 6 (H21) 6	-	-	7	7
			(2)その他事業(回)	(H18) - (H19) - (H20) 52 (H21) 108	-	-	157	156

全期間におけるコメント

指定期間を通じて、概ね成果目標を達成している。特にアンケートによる来館者満足度の値は一貫して上がり続けており、企画展など事業内容の充実や来館者サービスの向上に努力してきた結果と評価できる。

総括コメント	<p>1 指定期間を通じて、概ね成果目標を達成している。また、年末年始の2日間を除き休館することなく、来館者サービスの向上と施設の有効活用をはかっている。</p> <p>2 世界遺産登録5周年記念事業や開館3周年記念事業など、地域内外の人々との交流を促進するイベントを開催するとともに、体験学習や講座・講演会を開催することにより、集客交流・情報発信拠点づくりを進めている。</p> <p>3 収入は県からの指定管理料が主であるが、施設の貸館、体験学習等の開催による収入の増加に努めるとともに、光熱水費の節約など経費の縮減をはかっている。</p> <p>4 アンケート等を実施し、ポスターを掲示する案内板を設置するなど、来館者ニーズを運営に生かしている。</p> <p>5 来館者の安全・安心確保のため、施設の日常点検等を実施するとともに、消防法やAEDの操作方法に関する職員研修等を実施している。</p> <p>6 次世代育成支援対策として、小中学生向けの体験教室等を開催するとともに、小学校、幼稚園の見学を積極的に受け入れている。</p> <p>7 再生紙や両面コピーの積極的利用など省資源に努めている。また、情報公開・個人情報保護について適正に対処している。</p> <p>このように、熊野古道に関する歴史、自然、文化等を情報発信するとともに、熊野古道やその周辺地域の資源の活用および交流の場の提供等を行うことにより、地域の振興に寄与するというセンターの設置目的に資する運営が行われている。また、来館者サービスの向上と、施設の有効活用並びに経費節減をはかるとい指定管理者制度の導入目的に沿った運営がなされている。</p> <p>平成22年度から5年間、引き続き同じ指定管理者が管理を行っていくが、事業内容の一層の充実をはかり、来館者へのサービス向上に努め、経費節減や財政基盤の強化および県施策の実現に向けて取り組むよう、指定管理者に対し県として必要な助言等を行っていく。</p>
--------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

- 「2 管理業務の実施状況」の自己評価 :
- 「A」 業務計画を順調に実施し、特に優れた実績を上げている。
 - 「B」 業務計画を順調に実施している。
 - 「C」 業務計画を十分には実施できていない。
 - 「D」 業務計画の実施に向けて、大きな改善を要する。
- 「3 施設の利用状況」の自己評価 :
- 「A」 当初の目標を達成し、特に優れた実績を上げている。
 - 「B」 当初の目標を達成している。
 - 「C」 当初の目標を十分には達成できていない。
 - 「D」 当初の目標を達成できず、大きな改善を要する。
- 県の評価 :
- 「+」(プラス) 指定管理者の自己評価に比べて高く評価する。
 - 「-」(マイナス) 指定管理者の自己評価に比べて低く評価する。
 - 「 」(空白) 指定管理者の自己評価と概ね同じ評価とする。